

平成24年度酒々井町教育委員会10月定例会議 会議録

開催日 平成24年10月24日(水)

開催場所 役場西庁舎2階会議室

出席委員 委員長 大谷 文男
委員 小山 優子
委員・教育長 東條 三枝子
委員長職務代理者 浦壁 京子
委員 坪内 東公

出席職員 教育次長 神保 弘之
学校教育課長 池田 幸夫
中央公民館長 福田 和弘
プレミアム酒々井館長 木村 修一
こども課長 赤地 忠勝
生涯学習課長 濱野 敏幸
給食センター所長 石渡 義隆
こども課主幹(書記) 藤崎 裕

- 1 開会時刻 午後2時00分
- 2 会議録署名委員の指名
- 3 議題
(1) 報告(公開)
報告第1号 教育行政について
- 4 次回会議の予定 平成24年11月27日(火) 午後2時
12月20日(木) 午後2時
- 5 各委員の予定
- 6 その他
- 7 閉会時刻 午後2時55分

議 事 録

1 開会の言葉

大谷委員長

それでは、平成24年度10月酒々井町教育委員会定例会議を開催いたします。

2 会議録署名委員の指名

大谷委員長

本日の会議録署名委員は、小山委員にお願いします。

3 議 題

大谷委員長

これより議事に入ります。本日の議題は報告が1件となります。

それでは、報告第1号「教育行政について」事務局から説明願います。はじめに東條教育長からお願いします。

東條教育長

はい、委員長。 それでは、私からは、前回9月27日（木）に開催されました定例会議以降の対外的な行事を中心に、ご報告いたします。

10月1日（月） 町長室において、委員長及び同職務代理者から就任の、また前委員長から退任の御挨拶がありました。

10月7日（日） 第7回酒々井町スポーツ・レクリエーション祭が小中学校を会場に開催され、教育委員の皆様にも御出席いただいたところです。綱引きやバドポン、インディアカなどのニュースポーツや、健康体力測定など、多くの町民のみなさんの参加がありました。

10月17日（水） 第46回印旛郡市特別支援教育振興大会が、成田国際文化会館で1200人を超える参加者を得て開催されました。今回は印旛郡市における特別支援教育が、成田市三里塚小学校の分校として「不二学園」に設置されて始めて以来60周年という記念の意味を併せ持つ大会でした。現在では管内小中学校の9割以上に特別支援学級が設置されるまでに充実してきたところです。冒頭では成田市小中学校の特別支援学級の児童生徒により、成田市の歴史や文化、産業などについて、ふるさとカルタを題材にして紹介する学習発表がありました。最後は中学生10人あまりが成田空港について英語でどうしようと発表、大変立派な発表でした。

10月20日（土） 酒々井中学校青雲祭に出席しました。午前中は体育館で合唱祭が開かれ、保護者や卒業生の参加も多く大変盛り上がりました。各クラスの合唱発表の前にはクラス紹介があり、合唱祭に向けた思いや苦労したことなどが語られ、クラスが一丸となって取り組んだ様子がよくわかりました。特に3年生は最後の合唱祭ということで、短い休憩時間を利用して各クラスが円陣を組み最後の練習に励む姿が見られ、本番では3年生らしい迫力のある素晴らしい合唱を披露してくれました。3年生の優勝クラスが小学校で合唱披露するとともに、1部会音楽祭

で発表します。また、体育館後方には美術部の作品や夏休みの作品、さらには優秀な自主学習ノートが展示され、午後は英語のスピーチ発表や地域の太鼓のグループの演奏も披露されるなど、芸術の秋、学びの秋にふさわしい青雲祭となりました。

10月21日(日)佐倉警察署管内学警連 中学校 柔・剣道大会が佐倉中学校を会場に開催され、挨拶をいたしました。佐倉市・八街市・酒々井町の中学校の柔道部・剣道部が個人戦、団体戦に出場し、柔道個人戦で3位、剣道団体戦で女子が優勝しました。私からは以上です。

大谷委員長

続きまして、各課長から行政報告をお願いいたします。

赤地こども課長

会議資料により説明する。

池田学校教育課長

会議資料により説明する。

濱野生涯学習課長

会議資料により説明する。

福田中央公民館長

会議資料により説明する。

石渡給食センター所長

会議資料により説明する。

木村プレミアム酒々井館長

会議資料により説明する。

大谷委員長

以上で教育長並びに事務局各担当課からの報告が終わりました。それでは、何かご意見ご質問ございませんか。

小山委員

はい、委員長 公民館長にお伺いします。耐震診断の結果は、すぐに出るのでしょうか。

福田公民館長

はい、委員長 現在、調査を行っておりまして、調査期限の2月中旬には調査結果が出ます。

小山委員

わかりました。

浦壁職務代理

はい、委員長 学校教育課にお伺いします。就学時健康診断時に食生活に関して講和をしていただいたそうですが、給食センターの栄養士さんなのか、保健センターの栄養士さんか、どちらの栄養士さんですか。

池田学校教育課長

はい、委員長 給食センターの栄養士です。また、予防接種については、健康福祉課からお話がありました。

浦壁職務代理

はい、委員長 石渡給食センター所長からの報告ですと、給食センターの栄養士さんは、給食指導が多くて大変な中、就学時健康診断でも講和をやっていただいて大変ありがたいと思います。就学時健康診断は必ず親がいるので効果的な指導ができると思います。家庭教育学級だと参加する親が少ないのでこれをどういうふうにつないでいったらよいか是非、工夫をしていただきたい。

小山委員

はい、委員長 プリミエールにお願いがあります。さわやか通り前に案内板がありますが、ここ数か月休館日のお知らせだけで、イベント等の案内が無いようなので、できればイベント等の案内もお知らせしてください。

木村プリミエール館長

はい、委員長 案内をだしてほしくない団体もありましたので、今後は利用する団体に確認をとって表示をさせていただきます。

坪内委員

はい、委員長 福田公民館長にお伺いします。公民館運営審議会で報告された、6月からの月曜日（休館日）の利用団体が16件ほどありましたが、どのような団体ですか。

福田公民館長

はい、委員長 6月が10日・24日で4件 7月が22日・29日で3件 8月が12日・19日・26日で4件 9月が9日・23日で5件、計16件ですべて、定期利用団体で、一般の利用団体等はありませんでした。

一般の利用団体等の利用が無いのは、月曜日ということから公民館の各点検が年に10日前後、不定期に行われることやハッピーマンデーで祝日休館もあり、定期的に利用しづらいということもあります。公民館運営審議会委員からももう少しPRしたらという意見もありましたので、年明にも広報等で再度PRしていきたいと思えます。

坪内委員長

はい、委員長 利用した団体数をおしえてください。

福田公民館長

はい、委員長 4団体が繰り返し利用しています。

坪内委員長

はい、委員長 団体名をおしえてください。

福田公民館長

はい、委員長 ダンシング酒々井・オナオナ（ハワイアン）・舞妓バンブ・フラワーアレンジメントの4団体です。

坪内委員

はい、委員長 生涯学習課長にお伺いします。昨年より参加者が152名増という報告ですが、私ども教育委員もスポーツレクレーションに案内をされまして、バドポンとインディアカの参加者の方にお話を聞きましたところ、参加者は中高年の人たちが毎年参加者が減っているとのことでした。152名増というのは、子ども会の参加者の増のような傾向にあるように思いますが、顕著に増えたところほどの種

目だったのでしょうか。

濱野生涯学習課長

はい、委員長 至急、分析しまして後日、ご報告いたします。

坪内委員

はい、委員長 バドボン、インディアカのように参加者が少なくなっている種目もあることから、今後の課題として多くの人に参加できるような種目を町の人たちの意見も聞きながら検討する必要があると思います。これは意見として申し上げます。

大谷委員長

参加者の分析結果が出ましたらお知らせください。また、来年に向けての検討もよろしくをお願いします。

濱野生涯学習課長

わかりました。

坪内委員

はい、委員長 10月21日（日）行われた史跡ウォーキングをお見送りさせていただいた感想を述べさせていただきます。

酒々井町ふるさとガイドさんの役割分担や取組方等、チームワークが良く、勝っタネくんも愛嬌があり、天気にも恵まれ良い感じだなという印象を受けました。

102名参加された方たちは、家族での参加や赤ちゃんをおぶった方も参加され、また、町を知っていただくために遠方（旭市、千葉市、神崎町等）からの参加もいただきました。町としては、更に参加する方が増えるといいなという願望がございます。

濱野生涯学習課長

はい、委員長 ありがとうございます。参加者につきましては、今回は100名規模の予定でしたので、100名の募集に対し102名の参加をいただいた結果でございます。

坪内委員長

はい、委員長 運営上100名の参加に絞ったのですか。

濱野生涯学習課長

はい、委員長 そのとおりです。少人数でわかりやすく案内するために、ガイド1人に対し7人の参加者が1組になっていただき、15組で実施しました。過去には10人1組で行ったこともありましたが、十分な案内ができないことから、今回は100名の人数制限をさせていただきました。

大谷委員長

他にご質問は等ございませんか。

ご質問等がなければ、私から10月5日（金）の印教連教育委員長会議の報告をさせていただきます。

内容につきましては、「いじめ問題の現状と課題」ということで、千葉県教育庁教育振興部指導課生徒指導室 指導主事の静間眞一様からお話がありました。

いじめの進行とサインとうことで、最初は遊びの関係であったのが、一方的にい

じめられる側、いじめる側に役割分担が決まってくるところで学校では止めたい。そこがいじめのスタートだと認識を持つとうということ強く強調されていたのが印象的でした。いじめられるという認識が個々で違うこともありますし、いじめは絶対にゼロにならないといことで共通認識をもとうということ、いじめを解決するパーセンテージを重視していこうじゃないか、いじめを全部ゼロにすることが不可能であるのなら、改善してなくすことを100%に近づける努力をしていこうというような講演の内容に皆さんが賛同されていました。また、いじめの発生件数等につきましても県内の報告がございました。酒々井町もございましたが、18年にいじめの定義が変わりましたので、その前のデータは開示できないが、現状といたしましては、他の地域とそんな色ない発生件数で、解決してる方向で終わっていますので、今のところは大きく問題になることはないと認識はしておりました。千葉県のデータ等もありましたが、いじめの発生件数は18年の定義の変更に伴って、6倍程度に跳ね上がっているといことでしたが、ある程度、解決の道にいつているのであまり大きな問題はないが、中には見えてない部分もかなりあるんじゃないかと報告の中でありました。栄町等では、かなり突っ込んだ、いじめの調査をされていたようで、データも個人情報が入ってしまして、あまり外には出せない調査結果だったような気がしましたが、現状の把握に努力されているのだなと思いました。酒々井町は波風の立っていない状態をこれからも継続していければなと自分では感じ取れました。

その他で、佐倉市で学校の耐震について意見を求められまして、酒々井町は建物については100%、非構造材については今後、計画的に行っていく旨、報告させていただきました。

以上教育委員長会議の報告でございます。

4 次回会議の予定

大谷委員長

続いて、次回会議の予定についてお願いします。

赤地こども課長

次回の会議予定でございますが、11月27日火曜日、午後2時から、会場は西庁舎2F会議室、12月は20日木曜日、午後2時から会場は西庁舎2F会議室で予定させていただきたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

大谷委員長

次回会議は、11月27日の火曜日、午後2時、12月は20日木曜日、午後2時に実施するということですが、いかがでしょうか。

(全員了承)

5 各委員の予定

大谷委員長

続きまして、各委員の行事予定をお願いします。

赤地こども課長

(会議資料に基づき説明する。)

6 その他

大谷委員長

続きまして、その他でございませんか。

濱野生涯学習課長

・「酒々井町の昔話について」

(資料で説明)

7 閉会

大谷委員長

それでは、以上をもちまして平成24年度酒々井町教育委員会10月定例会議を終了いたします。(午後2時55分)

会議録署名委員長

委員

会議録作成職員

こども課主幹